

令和六年・第一回定例会

補正予算可決

一般会計 2664千円の追加

予算総額 115億7967万円となりました。

▷一般会計・主な事業◁

・新型コロナワクチン予防接種委託料…………… 2000万円

予防接種料金は1万6670円ですが、国と町の助成金で本人負担は2000円で受けられることになりました。対象は65歳以上の町民及び60歳から64歳までの基礎疾患のある町民です。

・みどり認定保育園実施設計委託料…………… 147万8千円

3月第1回定例会で実施設計委託料が3802万9千円となっていましたが、労務単価の上昇でさらに147万8千円が追加されました。

・コミュニティ助成事業助成金…………… 250万円

麻生会館にエアコン6台が設置されることになりました。これは申請の結果認められ、宝くじ収益金から受けることができたものです。

・図書館費…………… 251万4千円

図書館会計年度職員の欠員を1名補充しました。

令和5年度一般会計補正予算

昨年度の一般会計をほぼ決算に近い状態で補正したものです。

昨年度の予算に対し、財産の取得について
1716万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を

除雪グレーダ(3.7m級)1台
3737万7623円

00万円にしました。
その他償還の免除や減額の条件が緩やかになつたなど、進学や在学困難者に対する以前より有利な育英資金の貸し付け条例の一部改正を行いました。

議案第33号
財産の取得について
除雪グレーダ(3.7m級)1台
3737万7623円

議案
案

00万円にしました。
その他償還の免除や減額の条件が緩やかになつたなど、進学や在学困難者に対する以前より有利な育英資金の貸し付け条例の一部改正を行いました。

議案第34号

工事請負契約の締結について
桜園地公住S-3号棟住
環境改善事業建築主体工事
1億7765万円

議案第35号
工事請負契約の締結について
桜園地公住S-3号棟住
環境改善事業附帯機械設備工事
6462万5千円

議案第36号
町道路線の廃止について
中チヤンベツ新拓1線
麻生21線
の2町道路線が廃止されました。

議案第37号
標茶町育英資金貸付基金条例の一部改正
一般会計からの繰り入れ
を3500万円から50

・備荒資金組合納付金
3億円
・財政調整基金積立金
3億3457万5千円
・減債基金積立金
1億4662万3千円

※このうち備荒資金と財政調整基金は、町の貯金のようなもので、予算の執行残から追加して積み立てたものです。

00分の6.6に引き上げられました。
100分の8.8から100分の6.63に引き上げられました。
均等割額が被保険者一人につき2万5500円から2万6000円になります。

議案第38号
標茶町国民健康保険税条例の一部改正
基礎課税額分の資産割額
が、100分の6.6に引き上げられました。
100分の8.8から100分の6.63に引き上げられました。
均等割額が被保険者一人につき2万5500円から2万6000円になります。

令和5年度の一般会計補正予算は専決処分した事件で、報告は承認されました。

議案第36号
町道路線の廃止について
中チヤンベツ新拓1線
麻生21線
の2町道路線が廃止されました。

そのほか基礎課税額分の世帯別平等割額の引き下げ、介護納付金課税の世帯別平等割の引き下げ、7割5割、2割の各減額、未就学児の被保険者均等割額が改正されました。

議案第37号
標茶町育英資金貸付基金条例の一部改正
一般会計からの繰り入れ
を3500万円から50

00万円にしました。
その他償還の免除や減額の条件が緩やかになつたなど、進学や在学困難者に対する以前より有利な育英資金の貸し付け条例の一部改正を行いました。

標茶町手数料条例の一部改正

B類疾病 アインフルエンザ、イ高齢者の肺炎球菌感染症に新しく、「ウ新型冠状ウイルス」が加えられ、予防接種料金1万6670円のといふ、国と町の助成金で2000円の自己負担で受けられるようになりました。

専決処分した事件の承認について

報告第7号

令和5年度病院事業会計補正予算

報告第4号

令和5年度病院事業会計補正予算

- 裁判費用、弁護士着手料として66万円の追加

報告第5号

標茶町税条例の一部改正

- 町民税、固定資産税及び特別土地保有税の減免について、町長の職権による減免を可能とする規定が追加されました。

助成金の対象者は、65歳以上の高齢者及び60歳から64歳までの基礎疾患のある町民です。

報告第10号

標茶町地域総合整備資金貸付条例等の一部改正

この条例は、標茶町の地域振興に資する民間事業活動等に対し、無利子で供給する資金のことですが、今まで、貸付対象事業の費用から国庫補助金等の額を控除した額の35%以内でしたが、これを50%以内に引き上げました。また、貸付額も100万円以上20億円を限度とすることになりました。

報告第11号

標茶町2月29日に発生した町道マンホールのふたがはずれ通行中の車体が破損した事故の損害賠償額が41万6042円となりました。

この条例の失効が令和6年3月31日までだったのが、令和9年3月31日になりました。

報告第8号

令和6年1月5日に発生した公用車による事故の損害賠償額が決まりました。町の過失割合が100%で、物損損害分として126万9945円の額が決定しました。

定額減税の実施に伴い、関係法令改正による規定整理を行つたものです。

報告第6号

標茶町税条例の一部改正

標茶町国民健康保険税条例の一部改正

- 後期高齢者支援金等課税限度額が22万円から24万円に上がるなどの内容です。

報告第9号

- 令和5年12月19日に発生した公用車による事故の損害賠償額が決まりました。町の過失割合が100%で、ガーデールの補修工事費として52万8000円の損害賠償額となりました。

※報告された専決処分第3号から第11号まではいずれも議会で承認されました。

報告第11号

令和6年2月29日に発生した町道マンホールのふたがはずれ通行中の車体が破損した事故の損害賠償額が41万6042円となりました。

一般質問

町政を問う

櫻井 一隆 議員

ニユーワンの一部展示と試食会を考えていく。
町民の宿泊利用について
は、「町民の日」の設定や
ポイントカード等による還元も検討している。

宿泊施設を利用する町民への還元は

新たな食品開発と雇用の促進に努めてはどうか

町長 食品加工施設をつくる考えはない

櫻井 一隆 議員

問 標茶高校の生徒が作る乳製品や肉の加工食品は、町民に絶大なる人気があり、「つまいもん発見市場」等で販売してもすぐに完売となつてゐる。

また、3月には「し冬の湿原号」のイベントにもスイーツを駅前で販売し、標茶のイメージアップに貢献している。

4月3日の新聞には「標茶ブランドの創出」と題した講演が行われ、高校生が50名出席したとの報道もあつた。

この素晴らしい生徒たちの技術とアイデアを町の発展に活用すべきと思うが町長の所見を聞く。



イオン・標茶フェアの高校生

業するので、町おこしのための食品加工を研究開発する施設を立ち上げ、受け入れる準備をすばりにでも始め

てはどうか。また、場所については、駅前周辺の空き店舗等を活用して、駅前通りの活性化を図つてはどうか。

答 高校生とは年に一度、意見交換を実施している。食品加工あるいは開発する施設を立ち上げる考えはない。

この内見では温泉であり、施設の内見もある。また、当然料理にも一段と関心が高く、気になるという声も聞こえてきている。

町として、このように期待をしてくる町民に対して、具体的に何うかの方法で応えてはどうか。

さらに、町民に対する還元はどうのよいないとを考えているか。

答 内見会について、指定管理者である株式会社

共立ソリューションズとは、開業に向けて調整中である。

施設見学の他、食事メ

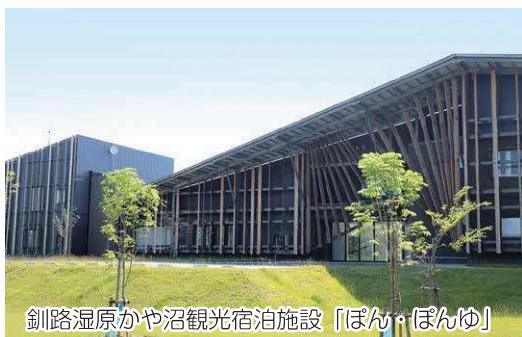
問 釧路湿原かや沼観光宿泊施設も9月のオープンに向けて準備中と思つ。多くの町民が楽しみにして

いるのは温泉であり、施設料金関係は条例改正が必要となるので、7月以降に全員協議会、臨時会を経て決定したい。

町民向け入浴料は、一般利用1000円を700円とした。

料金関係は条例改正が必要となるので、7月以降に全員協議会、臨時会を経て決定したい。

町民向け入浴料は、一般利用1000円を700円とした。



釧路湿原かや沼観光宿泊施設「ぽん・ぽんゆ」

会計年度任用職員の待遇改善を

町長 住居問題について早急に検討したい

深見 深見 深見
迪 議員 迪 議員 迪 議員

れば実効性が伴わないと考
えるがどうか。

教員の精神疾患が多いと
いう状況もあるが、教育長
の所見を聞く。

定数の改善が必要である

問 本町職員のうち正職員
と会計年度任用職員の
6月現在の人数はそれぞれ
何人か。また、会計年度任
用職員は、正職員と同等の
勤務労働をしている場合が
多く、会計年度任用職員の
業務は役場業務の中で大き
な役割を果たし、なくては
ならない存在と考えるがど
うか。その意味でも本来正
職員とすべきと考えるがど
うか。

答 令和6年6月現在の職
員数は、正職員が28
1名会計年度任用職員が
242名である。

会計年度任用職員の待遇
について、フルタイムには
給料や通勤手当、期末手当
や退職手当などの各種手当
が支給され、パートタイム
には報酬と通勤手当相当額
の費用弁償、期末手当が支
給されるとなつてゐる。し
かし、住居手当や扶養手当
は支給されない。これは著
しく不公平で、せめて住居
手当を支給し、安定的な人
材確保に努めるべきと考え
る。この点については地方

特に福祉関係の職場におい
ては正職員とほぼ同様の職
務内容となつてゐる。会計
年度任用職員の存在は、役
場業務の中で大きな役割を
果たしている。

会計年度任用職員の住居
問題について国のマニフェ
ルがあるということは先ほ
ど答弁したが、困つてゐる
人を一番救える方法を早急
に検討したじとと思つ。

公表について違和感など
コメントが出るのは自然だ

答 日々人口減少や少子高
齢化などの課題に直面
しつつもその解決に取り組
んできた自治体の首長とし
て、このままでは将来消滅

とができると思うがどう
か。会計年度任用職員への
住居手当支給はそれほど高
額にはなりないと考えるが
どうか。

公共団体が条例で定めるこ
とができると思うがどう
か。会計年度任用職員への
住居手当支給はそれほど高
額にはなりないと考えるが
どうか。

問 □戦略会議」（議長は
日本製鉄三村名誉会長）が
24日「消滅可能性自治体」
のリストを公表した。標茶
町もその中に含まれてい
た。その根拠は子どもを産
める若年女性人口（20歳～
39歳）が減るということであ
るが、女性が子どもを産
まないから人口が減少する
と時代錯誤の分析であると
しか言によつがない。町長
はこの公表をどうとらえて
いるか。

答 教職調整額が10%上乗
せられる」とによつ
て、直接長時間労働の削減
につながるかは、疑問を持
つところだが、処遇改善や
人材確保という面において
は一定の期待ができるもの
と考えている。

中教審は、教職員の処
遇改善や残業削減、教
員確保の提言を文部科学省
に提言した。それによると
月給4%相当の「教職調整
額」を10%に引き上げる内
容となつてゐるが、残業は
させ放題ともいえる内容で
あると考へるがどうか。

答 教職調整額が10%上乗
せられる」とによつ
て、直接長時間労働の削減
につながるかは、疑問を持
つところだが、処遇改善や
人材確保という面において
は一定の期待ができるもの
と考えている。

インターネットについては
学校においては子どもたち
に対する指導開始時間があ
らかじめ定められてゐるな
どの理由により現状では難
しくと考へててゐる。



認知症に関する支援を

町長 今後どのような方法が望ましいか検討

鴻池 智子
—— 議員

鴻池智子議員

軟骨伝導イヤホンの導入を

町長 デマンドバス運行に向けて実務上の課題を解決する

松下 哲也
議員

問 認知症基本法が昨年6月に成立した。認知症家族への支援が明記され、自治体へは施策推進計画策定が努力義務として盛り込まれた。認知症の人が希望をもって日常生活が送れるよう私たちにも認知症に対する正しい知識と理解を深めることが求められると思

ネットワークの現状と登録
人数は何か。今後、認知
症患者数が増加傾向にある
と見込まれている中、本町
の支援内容をより広く周知
するべきと考えるが、担当
部署としての考え方を聞く。

田として認知症支援団体
基本計画を現在どのように
取り組んでいるか。町内の
認知症サポート（チーム
オレンジ）の各種活動内容
とサポートーとして登録さ
れている団体と人数を聞
く。

認知症の人が、一人で出かけて道に迷って歩き回ってしまうことがある。本人は、目的があり出かけているが家族にとっては大変な心配事の一つと考えられる。そこで聞くが、SOS

推進基本計画は未策定であるが、サポーター養成講座の実施、ふれあいカフェ、ふれあい趣味クラブの開催など認知症地域支援ケア向上事業を実施している。サポーターの活動は、ふれあいカフェや講演会運営スタッフとして22名である。SOSネットワークの発動状況は令和3年度に1件。登録人数は令和6年5月末現在10名となっている。周知はどのような方法が望ましいか検討する。

研究、検討していく

難聴の人に対しても、窓口対応として、職員が分かりやすい言葉で、相手が聞き取れる確認をして対応している。窓口でのコミュニケーションの手段としては有効であると考える。

他の自治体等での使用事例等を研究し、どのように設置するか等を今後の検討課題とするべきと答えたがどうか。

研究、検討していく

過早過度等地域
の形成に貢献してきたこと
に敬意を表する。

週1回、各路線ごとに固
定の曜日に辰巳の便を運行し
て居る。運行日が祝日にあ
たる場合は別の日に臨時運
行し、きめ細かい対応をして
いる事は理解している
が、地域住民から辰巳の便の
乗客が非常に少ないので何
かしらの対応をしてはとの
意見を聞いた。

人、沼幌線1・4人、阿蘇内線0・5人、茶安別線0・6人、虹別線0・4人、磯分内線2・2人である。車両の小型化は、車両を用意する経費と比較して有利な選択が必要だ。スクールバスの混乗は、通学時間帯に実施している。それ以外の時間帯は総合学習に利用しているため、併用は難しい。

今後、町営バスのデマンド化における実務上の課題を研究し、解決に努める。

問 認知症になる一番大きな原因として難聴であることが報告されている。「軟骨伝導」を応用したイヤホンを病院・金融機関・自治体の相談窓口に設置した団体が125団体にのぼるとあつた。このイヤホンは耳の中に入れなくて明瞭に音が聞こえ音漏れも少ないといわれている。そこ

問 現在、町営路線バスは6路線で運行されています。それぞれ自治体バス（廃止代替バス）として町営軌道標茶線、沼幌支線、民間バス2路線、国鉄バス2路線の廃止に伴い地域住民の交通の手段として長年にわたって大きな役割を果たしてきた。昭和46年8月の運行開始から50年以上に

答 町営路線バスの令和5年の利用実績は、1日

過早過度等地域
の形成に貢献してきたことに
敬意を表する。

人、沼幌線1・4人、阿蘇内線0・5人、茶安別線0・6人、虹別線0・4人、磯分内線2・2人である。車両の小型化は、車両を用意する経費と比較して有利な選択が必要だ。スクールバスの混乗は、通学時間帯に実施している。それ以外の時間帯は総合学習に利用しているため、併用は難しい。

今後、町営バスのデマンド化における実務上の課題を研究し、解決に努める。

松下 哲也 議員

行事バスの更新計画を検討すべきでは

町民の理解が得られる
更新内容を検討する

問 行事バスは町の行事等で多くの町民に利用されている。地区公民館行事、保育園の行事、イベントの際の送迎等、また全道町村議員研修の時にも利用している。

丁寧な保守管理と歴代ドライバーの点検業務の積み重ねにより運行されてきたが近年老朽化が進んでいるとの話を聞く。導入からの経過年数、走行距離数、燃費、排気ガスの観点で現状をどう認識しているか聞く。町民の安全確保と今後の二ーズと要件を十分に考慮したなかでバスの更新計画を検討する時期に来ていると考えるが、町長の所見を聞く。



行事バス

答 現行の行事バスは、令和6年度末で30年が経過し、走行距離も67万キロを超えた。更新については、現行の55人乗りから39人乗りや27人乗りにサイズダウンも検討しなければなりない。

また、排出ガス規制については、窒素酸化物でいうと購入当時は520ppmであった。現在は、0.7ppmであることから環境負荷も含めて、町民の理解が得られるよう検討したい。

JR北海道は、そのような事実関係はないとしているが、この茅沼地区において、今年9月より、愛称「ぼん・ぼんゆ」がグランドオープンを予定しており将来的に、大変重要な問題と考えている。今後、JR北海道との茅沼駅の存続などについてどのように進めていくのか。



茅沼駅舎

標茶町の観光資源の将来性について

齊藤 昇一 議員

答 鉄網線沿線自治体では、平成22年から「JR鉄網線維持活性化協議会」を組織し、利用促進と路線存続に取組んでいる。グランドオープンを控える鉄網線沿線施設利用者の利用も見込まれ、観光振興上重要を視している。今後も塘路駅、茅沼駅の存続と、「くしきの湿原号」「号」や「S-L冬の湿原号」の老朽化対策と運行継続を粘り強く要請していく。

植樹活動の意義を明確にして積極的に進めるべき

町長「森と川の月間」を設け運動を展開している

渡邊 定之 議員

今年も「森と川の月間」が進められているが、クリーン作戦と同時に植樹が多く行われている。

その中で、川と植樹を結び付けた植樹活動も盛んにおこなわれているが、町としてはどのような効果を期待しているか。

虹別萩野魚付保安林再生事業植樹に参加したが、その中で関係者からの声として植樹をする場所等がないとの声も聞かれた。町としても積極的に場所の確保等に協力すべきではないか。この際河川敷地などの確認も行ってみてはどうか。町が貸している土地などはないか。あるとすればどのような用途か。おおよそ1000平米以上の土地について明らかにされたい。

地元の子どもたちも学校行事の一環として取り組んでいるが、将来的にはどのようにすべきと考えているか。



酪農研修生の確保に一層の努力を

酪農情勢に応じて、農業団体の代表などは、生産抑制などの制限を気にせず、生産できる情勢であるとの発言がなされているがその点について町長の考え方を聞く。

また酪農情勢の好転が見通せれば、研修生確保に期待していると答弁していたがその後どのような状況になつていているか。

情勢のいかんに関わらず本町の酪農の発展のために、新規就農者の確保は重要な課題であると考えるがどうか。

**新規就農者の確保は重
要だ**

令和5年、6年は、各1組が新規就農した。しかし、令和7年度以降の新規就農予定はない。酪農情勢のいかんに関わらず、本町の酪農発展のために、新規就農者の確保は重

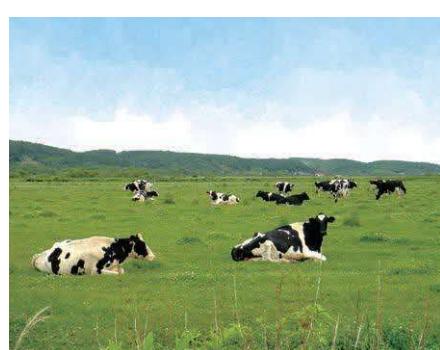
要である。
就農後については、無理なく経営がスターーできるよう「担い手育成協議会」が希望する酪農スタイルに対する指導、助言を継続したい。

の中で議論し、新規就農者が希望する酪農スタイルに対する指導、助言を継続し、酪農情勢に応じて、農業団体の代表などは、生産抑制などの制限を気にせず、生産できる情勢であるとの発言がなされているがその点について町長の考え方を聞く。

また酪農情勢の好転が見通せば、研修生確保に期待していると答弁していたがその後どのような状況になつていているか。

情勢のいかんに関わらず本町の酪農の発展のために、新規就農者の確保は重要な課題であると考えるがどうか。

虹別オートキャンプ場周辺の河川の泥水流入を防ぐべき



の後どのようになっているか。

か。

土砂流入防止対策を実施する

シユワソベツ川上流では、直接河川に影響する部分については、土砂流入防止対策を行っている。

森を再生することにより、河川への土砂流入に対する緩衝帯としての役割に期待している。

今後もシユワソベツ川を含め、植樹活動に積極的に取組んでいきたい。



虹別オートキャンプ場池

有害駆除の報酬体制を見直すべきでは

町長 地元獣友会との協議を密に行っていく

長尾 式宮 議員

問 昨今全国的にクマの被害が続出し、人的被害も出ている状態である。

標茶町においては昨年〇〇一八年が思わずここで駆除され、農業者をはじめ地域住民が安堵しているところである。しかし近隣町村では新たに牛がヒグマに襲われる事件も発生し、北海道、特に道東におけるヒグマ対策は今後も重要な課題とされている。

先日の報道で道内某獣友会が自治体における有害駆除を辞退した報道がされた。内情までは知るに及ばずであるが、辞退の理由の一つに報酬の低さが原因と報道されている。

現在標茶町では、獣友会が中心となりヒグマをはじめとする有害駆除をしているが、高齢化によるハンターの減少を危惧する声も聞こえてくる。今後町民の安全を確保するためにもハ

ンターの育成は必要不可欠と考える。野生動物を相手とする命がけでの活動であることからも、地元獣友会と改めて報酬制度について話し合い、道や国に報酬制度の在り方を働きかけすべきと考えるが町長の所見を聞く。



標茶町獣友会

答 令和元年度第4回定期会において、特別職の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の改正案について可決され、危険業務に係る報酬額の見直しを行った。

捕獲従事者の危険業務に係る報酬額の実態調査を北海道に対し求め、その結果を踏まえ、地元獣友会との必要な協議をこれまで同様に密に行っていく。

問 今年に入り大手鉄道会社が「従業員が安全に職務を遂行するため」と力スタッフ一ハラスメントに対する旨を公表している。具体的には客による過剰なクレーム・要求から従業員の精神的・肉体的安全を会社が守る事を意味している。先日の報道では厚生労働省も本格的な調査に乗り出し、今後の法整備につながると推測される。

答 カスタマー一ハラスメントの防止は、社会全体での意識改革と取り組みが必要である。

今後、法的枠組みの整備と啓発活動を通じて、カスタマー一ハラスメントの根絶に向けた取り組みが必要を感じている。

町商工会など事業者を取りまとめる団体と連携の上、働く人の就業環境が害されないよう、必要に応じて実態の把握や対応策を検討してもらいつゝ考えている。

根絶に向けた取り組みが必要だ

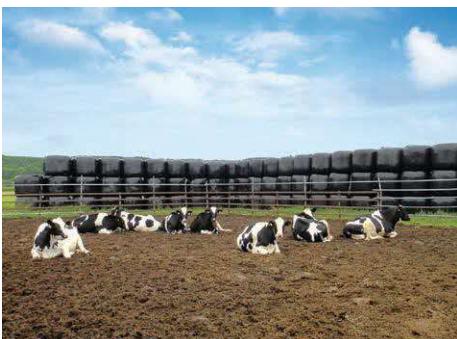


長尾 式宮 議員

基幹産業である一次産業を守る施策を

標茶町の基幹産業である酪農業を中心とする一次産業はコロナ以降需要の低迷、ウクライナ侵略に伴う原油高、円安に伴う飼料をはじめとする様々な資材の高騰により厳しい経営を強いられている。すでに地元農協や町でも対策はされているが、実情として現在のままでは立ち行かないと離農を考える事業者の声を聴いている。

基幹産業を次の時代につないでいくためには柔軟な施策が必要と考えるが町長の所見を聞く。



国は少子化が進む中、また教員の長時間労働が社会問題となり、働き方が改革が進められていること等から、将来にわたり生徒がスポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校の部活動を地域クラブ活動として、地域移行に取り組むことをめざしている。

それを受けて、教育委員会は今年度から部活動の地域移行を進めているが、生徒、保護者への説明は理解が得られているのか聞く。

また、部活動での経費は、保護者負担はあるのか。事故が発生した場合の責任所 在はどうなるのか等々、現在の地域移行への進捗状況はどうか。

今年度標茶中学校で活動している卓球、陸上、吹奏楽が移行している。文化系は、吹奏楽部以外はない。

町独自の一次産業支援対策等取り組んできました。一次産業の発展なくして町の発展はあり得ない。

個別での対応はできないが、一人の離農者も出さないといつも気持ちで、JAしべちや等関係機関と情報交換を行い、具体策の検討を継続していく。

酪農、畜産業の危機は本町だけではなく、国内全体の問題なので、町村会や各種期成会などを通じて、安定的に酪農経営を継続する体制づくりに国、道に対しても要望していく。



標茶中学校野球部練習風景

部活動地域移行の進捗状況と文化系の部の増設を

町長 様々な希望が出ているが検討委員会で検討していく

鈴木 裕美 議員

令和6年度の取り組みには、他の部活動や他団体へ広げるための条件整備があるが、生徒に選択肢の幅を持たすため、文化系の部活動希望調査をし、希望する部の増設を進めてはどうか。

地域移行は、標茶中学校で卓球、陸上、吹奏楽の3つの部が試行実践を開始した。児童生徒、保護者、教員にアンケートを実施し、ニーズは把握している。外部指導者への謝礼や検討委員報酬等の経費は、保護者負担になるが、傷害保険と賠償保険等スポーツ安全保険は教育委員会で対応する。

文化系の部活動については、美術、料理、演劇、イラスト、様々な希望が出ているが新しい部をつくる場合、検討委員会で検討しないかなければならない。

地域移行は、標茶中学で卓球、陸上、吹奏楽が移行する。文化系は、吹奏楽部以外はない。

町の存亡を賭けた酪農支援を

町長 支援策は相応の評価を得ている

類瀬 光信 議員

問 標茶町は、酪農の持続的再生産を堅持する限り消滅しない。そつした観点からこれまで、町独自で実施可能な酪農支援策を提案してきたが、ほぼ検討されていらない。

結果、離農に歯止めをかけることも、現状維持もまん然すに悲惨な状況となつてゐる。離農の実態把握と原因究明に加え、これまでの重点支援地方交付金等による支援策の厳密な評価が必要だ。

まず、持続的再生産の鍵を握る「草地型酪農」の具体的な姿が依然として示されていない。その重要な要素である地域の共同牧野が疲弊している事実を把握しているか。また共同牧野における「OSO18」以外の課題解決に取組んできたか。草地に関して、スラリーや堆肥を有効活用するための土壤分析を進めるべきで



答

令和5年9戸、令和6年度も既に12戸が搾乳牛を停止した。飼料価格高騰に対し、2年間で約520万円を支援した。町民に牛乳券を配布し消費拡大に努めた。それぞれ相応の評価を得ている。

牛の確保に向けてゲノム解析に取り組むとしていた

が、進捗が感じられない。

伝染病はもとより、地震や火山の噴火から生産再開までのビジョンもしつかりと持つべきではないか。

農協独自の「乳牛リース事業」により、増産に向かうものと期待するし、乳牛とともに育成牛が増え共同牧野の活性化も期待される。災害対策として、停電対策は進んでいる。年度内に給水設備のモデルを示す予定だ。噴火は想定外。今後対応を研究する。

予算審査特別委員会 総括質疑

類瀬 光信 議員

問 3年目となるルルラン通りの歩道改修工事と町民への周知が必要

経費削減は方向性の一貫通りの歩道改修工事で、今年度は縁石を再利用している。町民の生活に支障のない経費削減であり問題ない。

一方、除雪作業は現場の裁量で大幅に費用が増減している。また、パトロール車の修理や車検整備のリバーレートは統一されているが、建設機械や農業機械にはそれがない。値引きの有無もバラバラで、車両を安く購入しても維持費が高いう例もある。

経費削減は、方向性を統一し町民へも周知すべきで

過去2年間の工事では全ての縁石を交換した。縁石自体の寿命が長くなることを優先したため。実際には再利用しても大差なく、視覚的に違和感も薄いことから傷のない縁石を再利用した。これにより、約80万円の経費が削減された。

除雪等、現場の判断により経費が増減するものについては、判断基準と指示の徹底に努める。リバーレートについては、個別の作業単価統一は難しいが、時間単価については研究したい。



ルルラン通り歩道改修工事

答

過去2年間の工事では全ての縁石を交換した。縁石自体の寿命が長くなることを優先したため。実際には再利用しても大差なく、視覚的に違和感も薄いことから傷のない縁石を再利用した。これにより、約80万円の経費が削減された。

予算審査特別委員会 総括質疑

(時間当たりの基本工賃)